

## 文教福祉委員会行政視察報告書

1. 実施日 平成21年11月9日（月）～11月11日（水）
2. 視察地
  - 1) 東京都町田市 （11月9日）
  - 2) 東京都八王子市 （11月10日）
  - 3) 千葉県船橋市 （11月11日）
3. 視察項目
  - 1) 町田市 「子どもの居場所づくりについて」
  - 2) 八王子市「保育園民営化について」  
「団塊世代・シニア世代の地域参加について」
  - 3) 船橋市 「学校 ICT 環境整備事業 電子黒板について」
4. 出席者 文教福祉委員会  
委員長 芦田 功  
副委員長 山田 喜弘  
委員 肥田 正志 伊藤 健二 小川 富貴  
酒井 正司 澤野 伸  
議会事務局 横田 郁子

### 5. 視察結果報告（東京都町田市）

#### （1）視察地の概要

町田市はなだらかな丘陵と清流に恵まれ縄文・弥生時代より栄えた土地柄で、今でも多くの遺跡が発見されている。

鎌倉幕府が勢力を持つ時代には「鎌倉街道」が南北に通り、宿場町として栄えた。時代と共に街道の要所として発展を続け、明治26年三多摩地域が神奈川県から東京府に移管され、明治41年横浜線、昭和2年には小田急線の開通により、大きく発展した。

昭和33年に町田町・鶴川村・忠生村・堺村の1町3村が合併し、東京都で9番目の市として誕生した。当時は約6万人で、全世帯の4分の1は農家であった。首都東京の拡張に伴い、交通の便の良さから住宅地に適していたことで、昭和40年代から都市化が進み、大型団地も数多く造成された。

平成20年に市制50周年を迎え人口41万人を超える都市になっている。

#### （2）視察の目的

本市としても、子育てに対する様々な要望に答えるべく施策を実行していかなければならない。

時代と共に変化する子育ての環境、子育てニーズに柔軟に対応すべく、本委員会として子どもの居場所づくりを通じて、町田市が行っている子ども・家庭・地域の関わりについて具体的な取り組み事例を視察し考えていきたい。

### (3) 視察の内容

町田市子ども生活部児童青少年課長 能篠 敏明

子どもセンターばあん館長 佐藤 吉衛

町田市は青少年育成健全都市宣言をして 30 年目にあたる 1996 年、「宣言 30 周年」記念事業のシンボルとして、「町田市子ども憲章」が子どもたちにより起草された。子どもに関する施策を計画するにあたり子どもの声に耳を傾け、出来る限り施策に反映させるよう取り組んできた。



次世代育成支援対策推進法の制定を受けて作成された町田市の行動計画「町田市子どもマスタープラン」では、市内の中高生で組織された「子どもマスタープラン子ども委員会」が、この行動計画の一翼を担ってきた。子どもセンターの計画段階からの参画は画期的なことであり、子どもも市民の一人であるという実践的な例である。

1999 年子どもセンター「ばあん」が開館し、小学校 4 年生から 18 歳までの子ども自身でセンター運営全般に関わっている。

子ども委員会が組織され、夏祭り等イベントの計画・運営にあたっており、日頃の子どもセンターの利用に関する様々な問題を子ども自身で考え、解決に努めている。

子どもセンター「ばあん」の役割として

- ① 「子どもたちのあそびの拠点」 子ども文化創造・発信の場
- ② 「子どもたちの成長・発達の拠点」 社会性、自主性など、様々な能力を大きく引出し育む場
- ③ 「地域の子育て支援の拠点」 親による子育てへの支援、子育て支援に向けた地域活動の場を目指し運営がなされている。

様々な企画で子育て支援事業がなされており、親と子どもが共に楽しめるプランが用意されている。子どもたちも学校、学年、地域を超えた仲間たちと共に制作活動、料理活動、集団活動などの事業に参加している。

子どもたちの自主性を重んじ、子どもセンター「ばあん」は「屋根のある公園」をコンセプトに子ども自身で考え、自分の責任で遊ぶをモットーに「けがと弁当自分持ち」という合言葉がありました。

### (4) 質疑応答

Q：設立から 10 年経ちますが、10 年前と現在では子どもの変化、運営等の活動など活動内容に変化はあったか。

A：任天堂DS（携帯型ゲーム機）が普及し、子ども達も仲間内で集まっているが個々

でゲーム機に興じており、会話など極端に減ってきたと思う。子ども同士のやりとりが減ってきているため喧嘩も少なくなっている。子どもの成長過程を考えると憂慮すべき点ではあると考える。

Q：指導員の対応は。

A：子どもの自主性を重んじ、極力見守る形をとっている。

Q：子育て支援は。

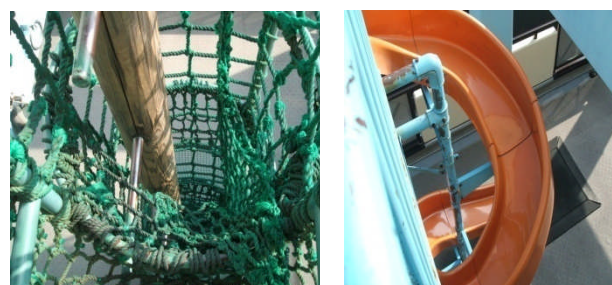
A：保護者が参加できる様々なカリキュラムを用意している。学校と連動し、曜日によって学童保育の場としても利用している。



体育室（3階フロア）



体育室からテラスにでると、3階から1階への滑り台と周りを網で囲った登り棒がある。



覗くと足が竦みそうであるが、今まで事故はなかったとのこと。

## （５）考察（まとめ）

町田市は、都市化、核家族化、女性の就労の参加などの児童を取り巻く環境の変化、さらに出生率の低下、遊び場の不足、交通事故の増加等地域における児童健全育成上憂慮すべき事態の進行に対応すべく地域における児童健全育成拠点づくりの必要性から子どもセンターを設立させた。

市内に「ばあん」を皮切りに3箇所開館しており、今後2館増やす計画である。

1町4村の合併（市制以前に1村合併）でできた町田市の地域事情を考えると5箇

所の予定。本市では児童館が開館しているが、町田市では児童館がそれまでなかったため計画された事業である。

児童福祉法上の児童館として、小学生だけでなく、18 歳までの子どもが利用できるようになっており、バンドの練習ができる部屋や小体育館が備わっている。

子どもセンターの運営は小学4年生から18歳までの子どもたちで組織される「子ども委員会」が取り仕切っている。

子どもセンターの設計から外壁の色まで、子どもたちの意見を取り入れ、館の名称である「ばあん」も子どもたちで考えたそうである。

特質すべきはこの子どもセンターは全国でも珍しく、夜9時まで利用できる。そのためか、やはり“たまり場”として問題も少なくないそうである。しかしながら、子どもたち自身で諸問題を解決しようとさせる仕組みとしての「子ども委員会」は有効な手段であると思う。

子どもセンターを利用する子どもを来館者（客体）としてではなく、各施設における運営のパートナー（主体的存在）と捉え、市長が委嘱し民生児童委員、青少年委員、小・中・高等学校職員等地域の関係者で組織されている「子どもセンター運営委員会」に子ども委員会の代表2名が参画している。このことから町田市の子どものあり方に対する姿勢がうかがえる。

場の提供だけでなく、どう運営していくのが重要なポイントであると認識した。

## 6. 視察結果報告（八王子市）

### （1）視察地の概要

八王子の由来は延喜16年（西暦916年）華嚴菩薩という名僧が現在の元八王子の城山のふもとに庵をたて、牛頭天王と8人の王子をまつり、八王子権言と称したのが“八王子”という名のおこりだという伝説がある。

そして元亀3年から天正6年のころ（1572～1578年）滝山城主・北条氏照が、この山に城を移し、その守護神として八王子権現をまつり、城を八王子城と呼んだのが、八王子という地名の由来であるといわれている。

八王子市は、東京都の多摩地域にあり人口57万5千人余、面積約186平方キロメートルである。

都心から約40キロメートルに位置し、江戸時代には甲州街道の宿場町として栄え、現在は中央自動車道と首都圏中央連絡自動車の交点、八王子ジャンクションがある。

東京の衛星都市としての機能が求められ、市の郊外には多摩ニュータウンなどの大規模住宅団地や工業団地、大学は21校で11万人の学生と5千人の教員が八王子市に通っている。

行政課題としては、行財政改革、環境対策、市街地の活性化、産業振興が主なものとなっている。

## (2) 視察の目的

保育園の民営化について平成 16 年から取り組み、現在も継続中。当市の実態を把握してその得失を学び、今後の課題審議に活かす。

## (3) 視察の内容

民営化推進の基本計画、指定管理者制度を選択した理由、民営化後の保育内容の変化、財政面の比較、保育士の処遇、議会への説明、今後の予定と見通し等を中心に質疑応答を行った後、最近民営化した大規模団地に併設した保育園を訪問し、園長のパワーポイントによる説明と園内見学を行った。

長房西保育園：敷地面積 1445, 04 m<sup>2</sup> 建物面積 505, 64 m<sup>2</sup>

都営団地 5 階建の 1 階

開所時間 7:30～18:30 延長保育（有料）18:30～19:00

受入年齢 生後 9 週間～小学校就学時未満

入所定員 0 歳 9 名・1 歳 10 名・2 歳 12 名・3 歳 20 名・4 歳 5 歳 49 名の総数 100 名

一時保育 有・障がい児保育 有・子育て支援（園開放・ひろば・相談）有



八王子市立長房西保育園。高層都営住宅の 1 階部分が保育園となっている



園庭には、紫外線よけの幌がところどころに掛けてある

A：運営主体と職員のみを事業者に委ねることにより、保護者の安心を優先した。

Q：指定管理者制度を選択した理由は。

A：検討を始めた当時は指定管理者制度がスタートした時期のため注目した

Q：民営化後の保育内容の変化は。

A：十分な引継ぎ期間を設けるので、特に無いものと思う。

Q：指定管理者の決定方法は。

A：応募による・株式会社や NPO は対象外・社会福祉法人であること・  
募集要項に照らし全項目が合格基準に達すること。

Q：指定管理者制度の 5 年毎の見直しは。

A：制度上やむを得ないが教育の連続性からは問題がある。

Q：民営化に伴う余剰職員の配置は。

A：一般行政職で採用しているので配置換えは容易。団塊の世代の退職が多いことも  
幸い。子育て支援センター等で経験を活用。

Q：民設民営の方が財政的に有利では。

A：市の責任を明確にすることを優先した。

Q：民営化に伴う市民への説得は。

A：全体計画と子どもに負担が無いことの説明に充分時間をかけた。

Q：民間委託に反対の請願に関しては。

A：10,765 名の署名と 6 名の紹介議員により出された。議会の空気は「民営化やむなし」であった。請願は不採択となった。

## （５）考察（まとめ）

八王子市立保育園指定管理者募集要項によれば、「保育園の設置目的を効率的、効果的かつ安定的に行うために云々」と効率主義優先のごとき文言が並んでいるが、実際の取り組みの姿勢と経過をみると、子どもの不安や保護者の心配に最大限の配慮がなされていることを知ることができた。それは民営化までの日程として 2 年前に民営化対象の保育園を保護者及びホームページなどで広く市民にも発表し、その後保護者説明会の開始、1 年半前に指定管理者の募集を開始し、1 年前に指定管理者を決定。半年前に引き継ぎ事務開始し、3 か月前より保育士の入れ替わりなど保育環境の変化による子どもたちの負担軽減のため、引き継ぎ保育を実施している。

見学した保育園で、民営化された直後に子どもが「この園は空っぽだ」と言った言葉が胸に刺さり、この子の寂しさの解消に全力を傾注したと話す園長をみながら、事業者交代がもたらす最大の弊害、それは保育園で一番大事なもののつまり信頼関係をなくすことをこの園長が救ったと思った。教育の理念を何よりも最優先し、見失うべきではないと感じた視察でした。最後に民営化後の保育内容について、市による保護者アンケートの実施、「第三者評価制度」の受審により評価を行うこととされており、その評価は運営が良くなった。給食がおいしくなった。若い先生で活気がでた。現法人に継続して更新してほしいとの保護者の主な意見である。

## 7. 視察結果報告（八王子市）

### （1）視察地の概要

「公立保育園の民営化について」の報告書参照

### （2）視察の目的

団塊世代・シニア世代の地域参加促進の実態について



### （3）視察の内容

八王子市はゆめおりプランを策定し、その中に市民協働のまちづくりを掲げている。それに基づいて団塊世代をはじめ、今後定年退職を迎える人々の豊富な知識と経験を地域の資源として地域づくりに活かすことにより、セカンドライフの充実と市民活動の活性化による協働のまちづくりの推進を目指している。この取り組みは可児市の高齢化施策に役立つものと考え、その実態の把握に努めた。

### 協働推進に向けた取り組みの経過

平成 11 年度	生涯学習部交流課設置・NPO 法人の認証手続きの相談窓口設置
平成 12 年度	行政と NPO 団体と協働のあり方研究会設置・NPO 講座、職員研修の実施・市民世論調査の実施
平成 13 年度	「行政と NPO 団体と協働のあり方に関する基本方針」の策定 NPO カレッジ及び市職員研修会 7 回実施
平成 14 年度	八王子市民活動協議会立ち上げ・八王子ゆめおりプラン策定
平成 15 年度	八王子市民活動支援センター開設・市民企画事業補助金制度の実施（実績 20 件・総額 7,900,000 円）・市民活動推進部協働推進課設置
平成 16 年度	協働事業の実態調査
平成 17 年度	お父さんお帰りなさいパーティーの共催・地域ファンドの検討・ 団塊、シニア向けボランティア講座
平成 18 年度	地域デビュー講座・団塊世代等地域参加支援デスク開設
平成 19 年度	地域活動体験講座
平成 20 年度	はちおうじ志民塾公開シンポジウム

### （4）質疑応答

Q：まちづくり委員会は形式的になりがちだが。

A：意見交換や交流の場として有効。

Q：NPO と自治会の関係は。

A：NPO は専門的分野・自治会は行事開催等で連携。

Q：政権交代で交付金が厳しいが。数値目標等の影響は。

A：数値目標は無い。助成金は町、自治会へは 1 団体 1 万円と 1 戸辺り 200 円。

Q：協働のまちづくりにより完成した河川公園の広さは。

A：幅 30～50 メートル、長さ 200 メートル。

Q：公園造成の費用負担は。

A：原材料費及び造成は行政。人手は市民ボランティア。

Q：計画期間や動員体制は。

A：計画から完成まで約 4 年間。自治会、生徒会、大学等の協力を得た。

## （５）考察（まとめ）

団塊世代の退職に備えて、長期的かつ綿密な計画を立て確実な成果を上げている取り組みは見事である。

行政主導でなく人材発掘から実働まで市民力を活かす手法は、財政収縮の現状から必然であるが実現が困難なケースが多い。

生徒、学生、NPO、自治会の特性を活かして連携し、長期的なまちづくりに組み込んでいることは学ぶべき事例と感じました。

## ８．視察結果報告（船橋市）

### （１）視察地の概要

船橋市の地名の由来は、日本武尊（やまとたけるのみこと）や景行（けいこう）天皇の東征にまつわる伝説にもあるが、おそらく、古代、海老川に船を並べて橋としたことから起こったといわれる。

江戸時代宿場町として発達し「船橋宿」とよばれる。昭和 12 年 4 月船橋町、八栄町、葛飾町、塚田村、法典村を合併し、市政施行。その後昭和 28 年 8 月千葉郡二宮町合併、昭和 29 年 4 月千葉郡豊富村合併、昭和 58 年 9 月人口が 50 万人をこえる。昭和 58 年 10 月「スポーツ健康都市」宣言、昭和 61 年 12 月「平和都市」宣言、平成 4 年 9 月「福祉と緑の都市」宣言、平成 15 年 4 月中核市となる。市域面積約 85 k m<sup>2</sup>、人口約 60 万人の都市である。

### （２）視察の目的

学校 ICT 環境整備事業 電子黒板についてその活用方法について船橋市内の小学校を視察し、本市において今後導入する電子黒板の効果について参考とする。

### （３）視察の内容

電子黒板を導入した効果について、船橋市立行田東小学校を訪問し、6 年 3 組の教室での算数の授業で「教科書拡大表示と書き込み」、6 年 1 組の視聴覚室での英語の授業で「パワーポイントと書き込み」、4 年 4 組の音楽室での音楽の授業で「デジタル絵本と空の動画」、1 年 4 組の教室での国語の授業で「教科書拡大と書架カメラの活用」につ

いて、実際の授業における活用方法を視察した。その後学校長、教員および教育委員会の担当者よりパソコン室にて実際の画面を見ながら質疑応答を行う。



6年1組の視聴覚室での英語の授業風景

#### (4) 質疑応答

Q：電子黒板の良さは具体的にどんなところか。

A：画面の前で説明できる。パソコン、カメラ、DVD 等いろいろの機器と接続ができる。

Q：黒板と比べて、良い点、不便を感じる点は。

A：書き込みができる。内容の保存ができる。文字数にかぎりがある。操作方法の理解がいる。1 教室 1 台が必要。

Q：セッティングに時間はかかるのか。

A：移動のため多少かかる。ただし移動は同じ階だけである。

Q：導入により学習面での子ども達の変化はあるか。

A：ゲーム感覚で楽しんでいる。興味づけに役立っている。

Q：子ども達の電子黒板へのかかわり方（操作、書き込み）について。

A：自分たちでできる。発表力（コミュニケーション）の向上。

Q：市販の教材はどのような物を導入しているか。またその費用は。

A：動画コンテンツ。定価の 5 割ぐらい。

Q：電子黒板の導入する際の安全配慮は。

A：事故防止のため、児童だけで移動しない。フロア間は移動しない。

Q：電子黒板の保守管理は。

A：維持管理には手間はかからない。

Q：教師の間で差が出てくのではないか。

A：学年で教材研究をし、共有化している。



視聴覚室の電子黒板で説明をうける

#### (5) 考察（まとめ）

船橋市立行田東小学校は、平成 18・19 年度船橋市教育委員会コンピュータ活用教育研究奨励校として、デジタルコンテンツの効果的な活用を通して「情報と主体的に関わる子を目指して」を主題に研究を積み重ねて来た。

実際に子どもたちが電子黒板を使って授業を受けている様子を興味深く見ることができた。子どもたちは何の違和感もなくタッチペンを使い画面に書き込みをしていた。さまざまな色を使えることで理解の手助けとなっているのだと思う。通常の授業が大事であり電子黒板は主でなく補助の役割である。

ただ現在の子どもたちのおかれている情報化社会のなかで、デジタルコンテンツの効果的活用は重要さを増すと思われる。本市も電子黒板を導入した場合の諸課題、情報機器の操作が複雑多岐で限られた教師にしか使えないことのないよう、その知識や情報活用能力を身につけることが急務となるのではないか。本市として十分な研修・研鑽を積むことが望まれる。

# 文教福祉委員会行政視察行程表

平成 21 年 11 月 9 日（月）～11 日（水）

月日	行 程				視 察 先			調 査 事 項		
11 月 9 日 (月)	新可児・ 今渡・ 可児川・ 西可児 名鉄 名古屋 のぞみ 8：00 発 8：04 発 8：07 発 8：10 発 8：50 着/ 9：20 発  新横浜 JR 横浜線 町田駅 (昼食) 町田市視察 町田駅 10：44 着/10：49 発 11：10 着 13：00 ～ 15：00 15：30  JR 横浜線 八王子市内（泊） 16：00 着				東京都 町田市（まちだ） 人口 416,469 人（住基台帳 H21.9.1 現在） 住所 〒194-8520 町田市中町 1-20-23 電話 042-724-2171 議長 井上 正行 様			子どもの居場所づくり 町田市こどもセンター 「ばあん」※現地視察		
11 月 10 日 (火)	八王子市内（ホテル） 八王子市視察 西八王子 中央線特 9：00 発 9：30 ～ 15：00 15：30 発  快速 御茶ノ水 中央総武線 錦糸町（泊） 16：13 着 16：18 発 16：27 着				東京都 八王子市（はちおうじ） 人口 551,127 人（住基台帳 H21.9.1 現在） 住所 〒192-8501 八王子市元本郷町 3-24-1 電話 042-620-7311 FAX 042-626-2458 議長 市川 潔史 様			午前 9：30～ 保育園民営化について （現地視察あり） 午後 13：00～ 団塊世代・シニア世代の 地域参加について ・志民塾 ・お父さんおかえりなさい事業		
11 月 11 日 (水)	錦糸町 総武本線 JR 船橋 船橋市視察（小学校視察）(昼食) JR 船橋 9：35 発 9：50 着 10：30 ～ 12：00 12：30  総武本線 東京 のぞみ 名古屋 名鉄名古屋 名鉄 13：28 発 13：52 着/15：00 発 16：43 着 16：52 発  犬山 名鉄 西可児・ 可児川 今渡・ 新可児 17：18 着/17：21 発 17：31 着 17：33 着 17：37 着 17：40 着				千葉県 船橋市（ふなばし） 人口 599,558 人（住基台帳 H21.9.1 現在） 住所 〒273-8501 船橋市湊町 2-10-25 電話 047-436-3022 FAX 047-436-3013 議長 興松 勲 様			学校 ICT 環境整備事業 電子黒板について ※学校視察		
文教福祉委員会		◎芦田 功		○ 山田 喜弘		肥田 正志		◎委員長 ○副委員長  合計 8 名	連絡先	〒509-0292 岐阜県可児市広見一丁目 1 番地 岐阜県可児市議会事務局 担当 横田 郁子 TEL 0574(61)1835 FAX 0574(63)3972
		伊藤 健二		小川 富貴		酒井 正司				
		澤野 伸		（議会事務局） 横田 郁子						